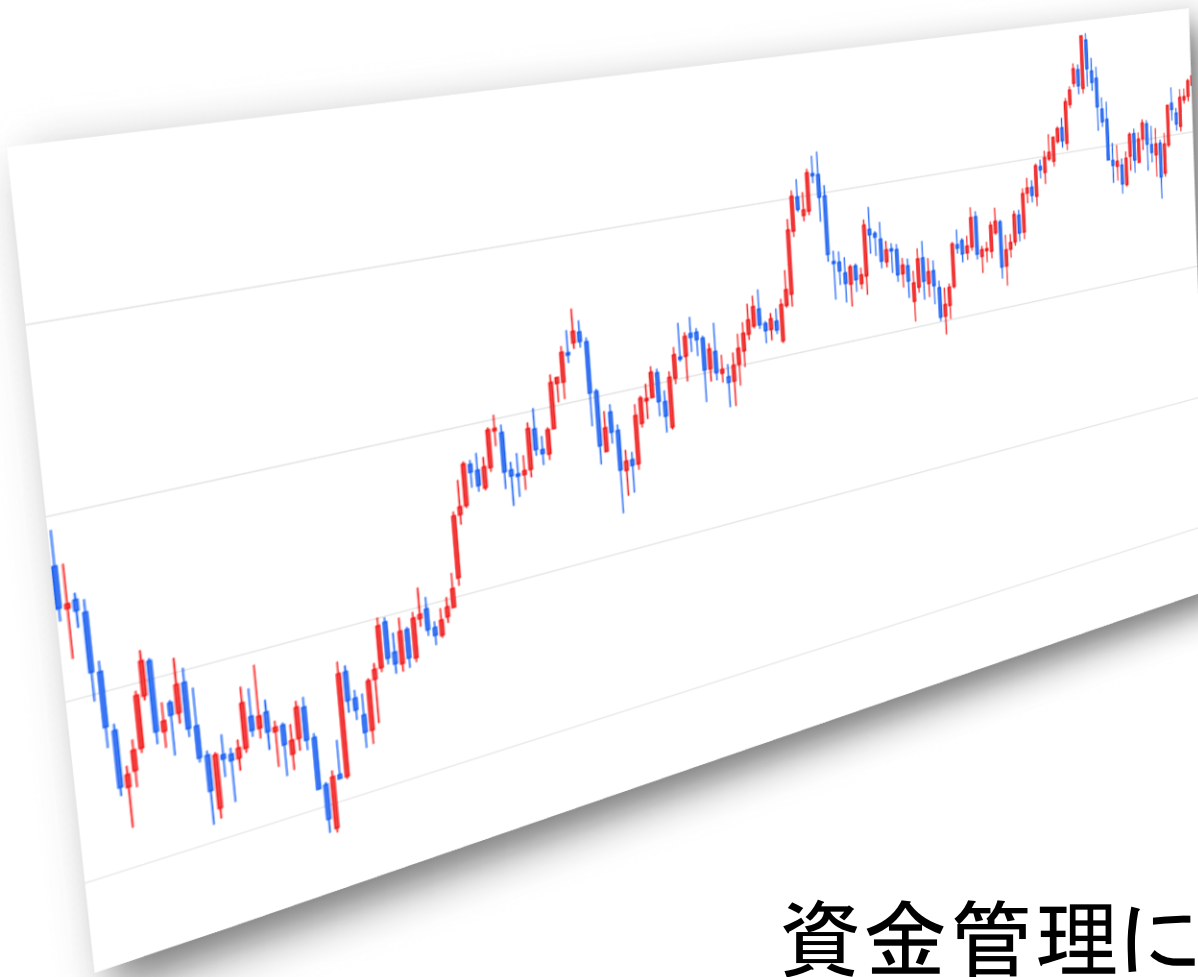




資金管理について

バカラ村

2019年1月12日

資金管理

- 1回のトレードで、大きな損失を出してはいけない
- 一般的には、1回のトレードでの損失は1～5%以内にするべきとされている

ポジション量

- 年間もしくは月間で「勝てる」というような状況になるまでは、大きくポジションを持たないようにする
- 勝てるようになれば、レバレッジを高めて、証拠金を使ってもいいと考えている

ポジションを大きく持つとき

- これまでの流れを変えるような内容が出たとき
- 長い揉み合いを抜けて、材料も伴っているとき
- 大きな流れに対して、小さな反対の動きで底をつけたタイミング
- 何度も跳ね返されている水準に近いとき

普段は小さいポジションで負けても、チャンスだと思ったときに大きなポジションにすれば、全てを取り返せる

ポジションの増加

- 含み損のときにポジションを増やすのは1回、多くて2回
⇒「買い下がる」というようなやり方もあるが、損切りになる場合はポジション量が多くなっていることがあり、資金が大きく減る可能性が出てくるため、基本的にそのやり方は採用しない
- 含み益のときにポジションを増やすのは、基本的に「新しい材料が出たとき」、「チャートポイントを抜けて、押し目の時」
⇒トレンド時に、ブレイクでさらにポジションを増やすと、高値掴みの可能性が出てくるため、押し目・戻りで。

<リスク開示>

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師（所属会社を含む。）は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。

お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

<注意喚起>

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生可能性があります。さらに、レバレッジ効果（想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み）や為替レートの変動等によって注文（ロスカット注文を含む）が約定しない場合等、元本を上回る損失発生の可能性があります。

特に、マイナー通貨（流動性の低い通貨）の取引をされる場合、元本以上の損失発生の可能性が高くなります。加えて、スワップポイント（通貨間の金利差調整額）においては通貨ペアやポジションの状態（売りまたは買い）によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社（相対取引）となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号：ヒロセ通商株式会社

業務内容：第一種金融商品取引業

登録番号：近畿財務局長（金商）第41号

加入協会：金融先物取引業協会会員番号1562